

こんにちは。早いことオーストラリアに来てから三か月が経ちました。コロナウイルスの影響で二学期の最初の五週間は自宅学習の期間となったので、今回はオーストラリアのオンライン学習について紹介したいと思います。

私の学校は朝九時から始まるのですが、自宅学習でも毎朝先生から出欠確認のメールが送られてきて、八時よりも前に返信すれば出席したことになります。私は英語、歴史、数学、理科、美術、日本語、Career Education の教科を学んでいるのですが、自宅学習期間は英語、歴史、数学、理科の主要四教科に絞って学ぶこととなりました。教科によって異なりますが、基本は月曜日に各教科の先生からその一週間でやる課題が送られてきます。ちなみにオーストラリアでは生徒と先生一人一人が学校用のメールアドレスを持っていてそれを使ってお互いに連絡を取り合います。毎日各教科の先生からメールが送られてきて課題の進行具合を一クラスごとに返信しないと授業に出席していないとみなされてしまいます。

授業についてなのですが、主にメールに添付されている Word や Power Point を用いたり、One Note、Stile というツールが使われたりします。例えば、私は今英語で Feature Article というトピックを勉強しているのですが、まず Simple Gift という小説を読みその本に関連するトピックについて記事を書かなければいけません。その記事をうまく書くために毎日先生から Power Point が送られてきて、それを読んで勉強してから Word 形式の問題に答えるという学習をしています。One Note は理科や数学で使われていて、先生が作成したノートを読んで学習する教科書のようなものです。ここでもまた Word 形式の課題が添付されていて、やり終わった後に One Note 宿題のフォルダーに提出すればメールしなくても先生が確認できるという仕組みです。Stile は主に理科や歴史で使われていて、サイトに添付された動画を見たり文章を読んだ後に問題に答えていくというツールです。例えば歴史だったら今ベトナム戦争を学んでいるのですが、最初に関連した動画や文章を読み、そのあとに自分の考えを 300Word ほど書かされることもありました。課題はオンライン学習が始まってから量が三倍ちかくなり、授業内の時間に終わらせるのは不可能なので毎日夜 11 時までパソコンと向かい合わなければいけません。また、授業内で出される課題だけでなく、オーストラリアには Assignment, Assessment と呼ばれる大きな課題があります。数学は試験だけで済まされますが、ほかの教科は一学期に各教科一つずつ出されることが多いです。多くの Assignment は 800 文字程度の論文を書くものが多く、何を書けばいいかと提出日は締め切りの約一か月前に知らされます。また、締め切り、Due Date の他にも Draft Date と呼ばれるものがあります。Draft Date は課題が知らされてから二週間後、つまり中間地点に定められることが多く、完璧じゃなくても良いから先生に今できているものを見せるという日です。つまり、間違いや改善点を先生に添削してもらえるとということです。

コロナウイルスの影響で留学生活が続けられなくなる生徒もいる中、こうして変わらずにオーストラリアで留学を続けられているのも東京都の職員の皆さん、家族のみんな、日本の先生方のおかげです。毎日そのことに感謝して後悔のないように留学を充実させていきたいと思えます。